

令和 3 年度事業報告

2021 年の世界全体の IAESTE 交換学生数は、対前年 82%増 1,241 名(対 2019 年 61%減)となりました。感染拡大 2 年目は各国の活動に大きな影響を及ぼし、会員 3 減、準会員 2 減、協力団体 4 減 6 増により 80 ヶ国 82 委員会(2020 年は 83 ヶ国 87 委員会)の構成となった他、年会費滞納も増えました。これらの原因は、①資金不足、②受入オファー減、③応募学生減、④運営ボランティア不足等で、特に学生により運営されている組織で顕著な傾向にありました。

日本は、厳しい入国制限が続いた結果、学生の受入は実現できませんでしたが、派遣は、リモート 1 名に加えて、11 名が所属大学からの渡航許可を得て研修を実施できました。このうち 3 名は昨年の派遣を予定していた学生で、応募から 2 年近く待ってようやく機会を得た研修でした。

令和元年度から今年度まで交換手数料等の見直しを段階的に進めてきた結果、派遣学生の経済的負担は大きく軽減されました。また、選考方法の見直し、年 1 回の応募を年 2 回とするなど、応募し易さも改善しました。しかし、まだ応募人数の増加には至っていないことから、更に取り組みを強化するために、ワーキング・グループ(リーダー: 橋本正洋常務理事)による検討を行い、事業環境と諸課題についての認識を共有した上で、2025 年派遣学生数目標 150 名の必達を最優先課題として決定いたしました。

目標達成状況

	令和 3 年度目標	令和 3 年度実績	目標達成率
選考試験応募学生数	75	45	60 %
派遣学生数	65	12	18 %
受入学生数	75	0	0 %

	令和 4 年度目標	令和 4 年度実績	目標達成率
選考試験応募学生数	75	27	36 %
派遣学生数	65	(24)	(37 %)
受入学生数	75	(39)	(52 %)

※ リザーブドオファーを除く / ()内は未確定値

1. 選考派遣事業

(1) 令和 3 年度派遣候補生追加募集 令和 3 年 4 月 8 日(木)～4 月 30 日(金)

以前から問合せのあった、4 月募集(年度内研修)を初めて行い、8 名の応募学生のうち 1 名の研修が実現できました。

(2) 令和 3 年度派遣準備会

実施時期・内容についての調整が間に合わず、実施できませんでした。

(3) 令和 4 年度派遣候補生募集

令和 3 年 9 月 1 日(水)～10 月 20 日(水)

昨年と同様、募集説明会は全て web 会議形式としました。

6 月から 10 月に開催された東京地区学生委員による 3 回の説明会と 2 回の質疑応答セッションを行いました。

また、東北大学の学生委員によるコミュニケーションツール Slack を使用した学生との情報共有が、応募書類の作成指導を含め実施され、5 大学 23 名が参加しました。

なお、会員 17 大学のうち、2 大学で 5 名以上の応募があった一方、7 大学では応募 0 名となりました。

(4) 令和 4 年度派遣候補生選考試験

令和 3 年 11 月

昨年同様、会員大学ごとの web 会議形式による選考を実施しました。

(5) 令和 3 年度派遣報告会

実施時期・内容についての調整が間に合わず、実施できませんでした。

2. 来日研修生受入事業

昨年に引き続き、来日できなかった研修生のための web 会議形式の交流イベントを学生委員が企画・実施しました。詳しくは、[IAESTE Annual Review 2021/2022](#) の記事(38・39 頁)をご覧ください。

<https://www.yumpu.com/en/document/view/66222294/iaeste-annual-review-2021-22>



3. 国際連携事業

(1) 75th Annual Conference 2022

2022 年 1 月 21 日(金)～27 日(木)、
Vienna, Austria + Virtual

COVID-19 感染拡大の影響で、昨年の web 会議形式での開催に続き、hybrid(=対面+web)開催となり、77 ヶ国から約 400 名が参加しました。

当協会からは事務局長、オファー交換担当 4 名(うち 3 名は派遣経験者)が web 参加し、15 ヶ国との間で 31 件のオファーを交換しました。また、役員、学生委員それぞれ 2 名がゲスト参加しました。

なお、75th Annual Conference 2022 の概要は、[IAESTE Newsletter](https://sites.google.com/iaeste.org/iaeste-newsletter203/highlights-of-the-75th-iaeste-annual-conference?authuser=0) でご覧下さい。

<https://sites.google.com/iaeste.org/iaeste-newsletter203/highlights-of-the-75th-iaeste-annual-conference?authuser=0>



4. 総会・理事会の開催

(1) 第 37 回理事会	令和 3 年 4 月 25 日(日)	web 会議
(2) 第 10 回定時総会	令和 3 年 5 月 30 日(日)	web 会議
(3) 第 38 回理事会	令和 3 年 5 月 30 日(日)	web 会議
(4) 第 39 回理事会	令和 3 年 11 月 7 日(日)	web 会議
(5) 第 40 回理事会	令和 4 年 4 月 3 日(日)	web 会議

以上のとおりですが、令和 3 年度事業報告には「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので、附属明細書は作成しません。

令和 4 年 4 月

一般社団法人日本国際学生技術研修協会

(別表 1) 令和 3 年度 学生交換実績

国・地域	日本からの 派遣	日本への 受入	研 修 分 野	日本からの 派遣	日本への 受入
オープン・オファーによる交換					
Germany	4	0	Biological and Biomedical Sciences	4	0
Serbia	3	0	Architecture	2	0
Malta	2	0	Computer and Information Sciences	2	0
Austria	1	0	Agriculture and Food Science	1	0
Panama	1	0	Education	1	0
Switzerland	1	0	Engineering, Other	1	0
合 計	12	0	合 計	12	0

※ リザーブド・オファーによる交換（派遣・受入）はありませんでした

(別表 2) 令和 3 年度 派遣学生の所属・派遣先

大 学	(研究科・学部) 専攻・学科	学年	派遣先
大学会員（学部）			
東京都市大学	(建築都市デザイン学部) 建築学科	B4	スイス
大学会員（大学院）			
大阪大学大学院	(工学研究科) 環境エネルギー工学専攻	M2	オーストリア
九州大学大学院	(システム情報科学府) 情報知能工学専攻	M2	ドイツ
九州大学大学院	(生物資源環境科学府) 生命機能科学専攻	M1	マルタ
東京工業大学大学院	(生命理工学院) 生命理工学コース	M2	セルビア
東京工業大学大学院	(生命理工学院) 生命理工学コース	M1	ドイツ
東京都立大学大学院	(都市環境科学研究科) 建築学域	M2	マルタ
東京都立大学大学院	(都市環境科学研究科) 地理環境学域	M2	セルビア
東京農工大学大学院	(農学府) 農学専攻	M2	ドイツ
大学会員以外			
青山学院大学	(理工学部) 化学・生命科学科	B3	セルビア
お茶の水女子大学	(文教育学部) 言語文化学科	B2	パナマ (Remote)
高知工科大学大学院	(工学研究科) 基盤工学専攻	M2	ドイツ

※ リザーブド・オファーによる交換（派遣）はありませんでした

(別表3) 事業の推移(平成24年度～令和3年度)

	平成24 2012	平成25 2013	平成26 2014	平成27 2015	平成28 2016	平成29 2017	平成30 2018	令和1 2019	令和2 2020	令和3 2021	令和4 2022
大学会員数	21	25	24	20	19	19	19	18	18	17	
個人会員数	114	125	129	124	114	113	119	119	117	117	
賛助会員数	16	16	15	12	9	9	10	9	7	7	
事業協力会員数	22	19	20	21	17	20	19	19	19	11	
うち受入実施会員数	20	16	19	21	17	20	17	19	1	0	
学生会員数	168	226	243	233	217	183	178	94	48	21	
選考試験応募学生数	114	92	73	71	48	51	51	62	62	45	27
選考試験認定学生数	85	70	72	67	39	46	45	53	49	39	26
派遣学生数	65	52	46	49	45	26	38	44	0	12	<u>24</u>
うちリザーブド・オファー	0	0	3	1	3	0	3	0	0	0	
受入学生数	87	60	66	65	51	60	49	59	1	0	<u>39</u>
うちリザーブド・オファー	5	4	5	6	6	6	6	9	0	0	
(単位:千円)											
正会員(大学)会費収入	4,200	5,000	5,000	7,800	7,600	7,600	7,600	7,200	7,200	6,800	
賛助会員会費収入	1,500	1,450	1,350	1,150	850	850	850	800	700	700	
交換手数料収入	5,860	4,618	5,450	5,060	3,370	3,810	4,590	2,900	1,475	1,300	
経常収益計	14,305	14,341	15,645	17,515	14,876	14,860	16,837	14,027	10,302	9,633	
経常費用計	13,721	17,524	15,291	13,777	12,680	14,224	13,129	13,855	11,467	9,887	
当期経常増減額	584	△ 3,183	354	3,738	2,196	636	3,709	172	△ 1,165	△ 254	
正味財産期末残高	11,019	7,836	8,190	11,928	14,124	14,760	18,469	18,641	17,476	17,222	

記載の金額は、表示単位未満の端数を四捨五入して表示しております。

下線の数字は未確定です。

(別表 4) 各国 IAESTE の学生交換状況 (2020 年 9 月～2021 年 8 月)

派遣学生数		受入学生数		受入学生数 - 派遣学生数	
Germany	112	Germany	145	Austria	53
India	107	Switzerland	99	Switzerland	48
Spain	75	Austria	95	Germany	33
Poland	64	India	79	United Arab Emirates	33
Brazil	54	Poland	70	Czech Republic	25
Switzerland	51	Turkey	54	Portugal	19
Greece	43	Spain	49	Turkey	19
Tunisia	43	Czech Republic	41	Belgium	15
Austria	42	United Arab Emirates	40	Norway	9
Turkey	35	Bangladesh	35	Saudi Arabia, TU	9
Bolivia, IB	33	Portugal	35	⋮	⋮
Bangladesh	31	Brazil	32	⋮	⋮
Jordan	31	Tunisia	32	Ghana	-9
Croatia	29	Belgium	31	Japan	-9
Iran	27	Sweden	28	Tunisia	-11
North Macedonia	23	Croatia	26	Argentina	-12
Sweden	21	North Macedonia	24	Jordan	-13
United Kingdom	21	United Kingdom	24	Serbia	-13
Chile, TU	20	Chile, TU	24	France, GA	-18
Ecuador	20	Iran	22	Brazil	-22
France, GA	18	Norway	22	Spain	-26
Ghana	17	Malta	20	Bolivia, IB	-27
Serbia	17	Jordan	18	India	-28
⋮	⋮	Ecuador	18	Greece	-39
⋮	⋮	⋮	⋮		
Japan	13	Japan	4		
(会員57ヶ国中26位)		(会員57ヶ国中34位)			
(87委員会中29位)		(87委員会中42位)			
合 計 1,241		合 計 1,241			
派遣なし： 24委員会		受入なし： 32委員会		受入・派遣なし： 21委員会	

(出典) IAESTE A.s.b.l. 発行 2021 ACTIVITY REPORT

※ 集計期間が異なるため、別表 1～3 とは人数が異なります

IAESTE 用語集

IAESTE A.s.b.l.	<p>The International Association for the Exchange of Students for Technical Experience, Association sans but lucratif の略</p> <p>1948 年設立、2005 年 Luxembourg で非営利団体(=A.s.b.l.)として登録 2022 年 1 月現在の会員構成は、Full Members (会員) 53、Associate Members (準会員) 6、Co-operating Institutions (協力団体) 23 で、加盟国は 80 ヶ国、82 委員会 (China と Yemen にはそれぞれ 2 委員会がある) 日本は 1964 年 Associate Member で加盟、1968 年 Full Member に昇格</p>
IAESTE Values	Friendship, Trust, Respect, Professionalism, Development, Intercultural cooperation を Core values として組織文化の基礎に位置付けている
Statutes/By-laws	日本の定款に相当する規定。Statutes は組織の基本に関する事項、By-laws は Statutes を補足する詳細な事項をそれぞれ規定している
AC	<p>Annual Conference</p> <p>年1回(通常は 1 月)、IAESTE に加盟する Full Members、Associate Member、Co-operating Institutions が集まり、General Conference、Exchange Sessions 等を行う場。日本は 1982 年と 1999 年に開催国を務めた</p>
GC	<p>General Conference</p> <p>ポリシー・経営戦略の決定、Board Member の選出、予算・決算の承認等を行う、IAESTE の最高意思決定機関で、Full Member だけが投票権を持つ</p>
Exchange Session	Annual Conference に参加している Full Members、Associate Member、Co-operating Institutions の間でオファー交換を行う場
Full Member (略称 FM)	<p>General Conference での投票権を持つ Member</p> <p>その国全体を代表する National Committee を持つ</p>
Associate Member (略称 AM)	<p>Full Member に認定されるまでの期間の Member のステータス</p> <p>General Conference での投票権は無いが、その国全体を代表する National Committee を持つ</p>
Member	Full Member と Associate Member の総称
Co-operating Institution (略称 CI)	<p>IAESTE Member の存在しない国で、IAESTE の活動に参加する団体</p> <p>国を代表することではなく、1 国に複数存在することがある</p> <p>Board は活動開始の承認を行い、毎年その活動状況をレビューする。</p>
Committee	Full Member、Associate Member、Co-operating Institution、及びそれらの下部組織の総称

NC	National Committee Full Member と Associate Member だけが持つ、その国を代表する組織
LC	Local Committee National Committee の下で、IAESTE の活動に参画する組織で、学生ボランティアにより運営されている場合が多い
Board Member	Board は、General Conference で選出される 5 名で構成される Board は、President 以外の 4 名の Board Member の中から Secretary と Treasurer それぞれ 1 名を選ぶ President は、任期 2 年で、最長 6 年間まで再選可 3 名の Board Member は任期 3 年・再選不可で、他の 1 名は任期 1 年・1 回再選可 Board Member は無給だが、旅費等 UN 基準の手当が支給される
Support Team	GC で決定された戦略の実行を Board の指揮下で行う、4 名(2021 年現在)の Manager
Task Force	GC での決議により設置される、有志による課題解決チーム
Strategy 2025	2020 年の Annual Conference で決定された、2025 年世界交換数目標 1 万の達成のための戦略
Offer	雇用者から学生に提供される Internship の詳細(期間、場所、職務内容、求められるスキル、報酬など)を記載した文書
Internship	特定の仕事の経験を積むために企業・団体等で働くこと、就業体験
STEM (STEAM)	Science、Technology、Engineering、Mathematics の頭文字で、IAESTE が扱う Internship に求められる主な専門分野の総称。Art または Architecture を含むこともある。応募学生が所属する学部・学科名ではなく、その学生の持つスキル・知識が重視されることに注意が必要。例えば、経済学部の所属学生でも雇用者の求める IT スキル・知識を持っていることが認められれば、Internship 機会を与えられる可能性がある。
EP	Exchange Platform オファー作成からインターンシップ終了後のフィードバック提出まで、学生・雇用者・NC が行う交換に関わる一連の業務を支援するシステム
AC offer	Annual Conference で交換されるオファー 10～12 月に雇用者から集めた情報により発行され、翌年 5～10 月頃に研修が実施される

COBE offer	<p>“Continuous Online Based Exchange” offer</p> <p>オファーは随時 Exchange Platform で公開され、通常 2 週間以内に各 NC・CI から提出された Nomination の中から雇用者が学生を選択</p> <p>雇用決定までの時間が短く、複数の候補者の中から選択できるため、雇用者と学生双方の評判が良い</p>
FCFS offer	<p>“First Come First Serves” offer</p> <p>オファーは随時 Exchange Platform で公開され、最初に提出された Nomination を雇用者が審査し、受け入れ不可と判定されれば次の Nomination が審査される</p> <p>雇用決定までの時間が短いため、雇用者と学生双方の評判が良い</p>
Open Offer	<p>どの国との間でも交換可能なオファー (Reserved Offer との対比)</p> <p>NC・CI の活動の中核は、Open Offer の交換と規定されている</p>
Reserved Offer	<p>予め特定の学生と特定の雇用者との間で Internship の合意ができていたオファー</p>
Unused Offer	<p>交換あるいは公開されたが、期限までに Nomination が提出されなかったオファー</p>
Nomination	<p>雇用者が学生を受け入れるか否かを判断するための書類一式、またはその書類を添付して Internship に応募すること</p>
JUMP	<p>Join Us to Motivate People の略、IAESTE に新たに加わった NC・CI・LC 関係者のための研修／セミナープログラム</p>
Remote Internship	<p>2020 年 Pilot Project として始まった、物理的な人の移動を伴わないインターンシッププログラム、</p>
Annual Review	<p>年 1 回発行される対外広報文書</p>
Activity Report	<p>9 月～翌年 8 月までの 1 年間の交換事業に関するデータをまとめた文書</p>
Internal Newsletter	<p>月 1 回発行される、世界の活動を IAESTE 内部関係者に紹介</p>